

研究計画概要

助成年度・種別	2020年度 一般研究助成
研究代表者	山脇 望美
所属	名古屋大学大学院
研究テーマ	自閉スペクトラム症傾向の性犯罪者の子どもへの性的関心に関する研究
研究計画概要	<p>自閉スペクトラム症の診断を受けた性犯罪者は、自閉スペクトラム症の特徴であるコミュニケーションスキルの乏しさや、共感性の欠如、人や物への執着等により逸脱した性行為を遂行することが示されている。しかし、子どもを対象とした研究では、自閉スペクトラム症の診断を受けた性犯罪者の公表、接触に限界があること、子どもへの性的関心が環境要因に規定されるとの知見が多いことから、自閉スペクトラム症の性犯罪者のどのような特徴が子どもへの性的関心を高めるのかについて明らかにされてこなかった。</p> <p>そこで、本研究では、自閉スペクトラム症傾向の性犯罪者の子どもへの性的関心を促進する特徴について明らかにする。具体的に、性行為に関する認知の歪みや慢性的な性的欲求不満や衝動性などが子どもへの性的関心を高めているのかについて検討する。</p> <p>再犯防止が謳われる昨今、性犯罪者への対応は急務であるが、子どもに性的関心を持つ自閉スペクトラム症傾向の性犯罪者の研究は発展途中である。本研究では、自閉スペクトラム症傾向の性犯罪者の子どもへの性的関心を高める要因を明らかにし、最終的に彼らへの効果的な対応策を提言する。</p>
選考委員からのコメント	<p>本件研究テーマは、「自閉スペクトラム症傾向の性犯罪者の子どもへの性的関心に関する研究」である。臨床現場ではこのような傾向を持つ人たちをどのように理解し、適切な処遇を選択するのことは極めて重要な問題である。本研究は、先行研究に基づき仮説を実証しようとするもので、これが明らかになれば効果的な処遇プログラムの作成が可能である。豊富な臨床例を持ち、高度な専門性を有する研究者たちとの共同研究に期待したい。</p>